

問3 Kさんは、歴代の天皇について、次のカードⅠ～カードⅣにまとめた。これらについて、あとの各問いに答えなさい。

カードⅠ

推古天皇

①政治の混乱が続く中、最初の女性の天皇として即位しました。そして、あを摂政とし、天皇中心の政治づくりを進めました。

カードⅡ

後醍醐天皇

朝廷に政治の実権を取りもどそうと、武士や公家によびかけて幕府をたおし、みずからいを始めました。しかし、②天皇によるこの政治は長続きしませんでした。

カードⅢ

ごつちみかど
後土御門天皇

応仁の乱がおきたころの天皇です。在位中、③商工業が発達し、大名や商人は経済力を高めましたが、朝廷の財政は苦しく、天皇の葬儀の費用にも事欠いたそうです。

カードⅣ

孝明天皇

在位中に始まった④外国との自由な貿易で、経済が混乱しました。江戸幕府との関係を強めて社会の安定をはかるため、妹を將軍の夫人として送り出しました。

(ア) カードⅠ中のあ、カードⅡ中のいにあてはまるものの組み合わせとして最も適するものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- | | | | |
|------------|---------|------------|---------|
| 1. あ：聖徳太子 | い：建武の新政 | 2. あ：聖徳太子 | い：大化の改新 |
| 3. あ：中大兄皇子 | い：建武の新政 | 4. あ：中大兄皇子 | い：大化の改新 |

(イ) ——線①に関して、この政治の混乱について説明したものとして最も適するものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1. 幕府内で勢力を強めた北条氏が、他の有力な御家人を次々に退けた。
2. 天皇の信頼があつかった菅原道真が、大宰府に左遷された。
3. 天皇と上皇が、それぞれ武士を味方にして争った。
4. 仏教の受け入れに積極的な蘇我氏と、それに反対する物部氏とが争った。

(ウ) ——線②に関して、天皇による政治が長続きしなかった理由として最も適するものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1. 自分の収入を増やすことだけを目的とする国司が増え、地方から政治が乱れていったから。
2. 天皇に協力して幕府をたおした武士の間で、公家中心の政治への不満が高まったから。
3. ききんにより多くの人が飢えに苦しみ、農村が荒廃したから。
4. 浄土真宗の信者が団結して領主に反抗するようになったから。

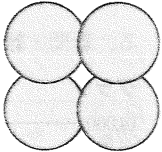
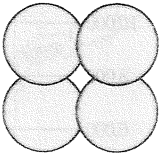
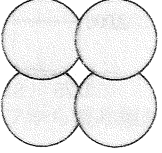
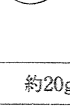
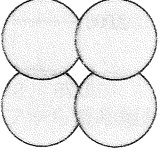
(エ) —— 線③に関して、商工業の歴史について説明した次の文Ⅰ～Ⅲを、年代の古いものから順に並べたものを、あとの1～6の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

Ⅰ	平城京の市で全国から集まった産物が売買された。
Ⅱ	貨幣の流通がさかんになり、都市では両替商が活動した。
Ⅲ	安土城の城下町で、楽市・楽座の政策がおこなわれた。

1. Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ 2. Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ 3. Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ
 4. Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ 5. Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ 6. Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

(オ) —— 線④に関して、次の資料は、当時の日本と外国の金貨と銀貨の交換比率を示したものである。資料から読み取れることについて説明した文X、Yと、このような交換比率のもとで貿易がおこなわれた影響についての説明文a、bの組み合わせとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

資料

	外国の銀貨	日本の銀貨	日本の金貨	外国の銀貨
				
				
				
				
重さ	約108g	約103g	約20g	約324g
交換比率 (重量ベース の比率)	外国の銀貨と日本の銀貨の 交換比率…1:1		日本の銀貨と日本の金貨の 交換比率…5:1	
			日本の金貨と外国の銀貨の 交換比率…1:15	

読み取れること	X	外国の銀貨1枚は、日本の銀貨3枚と交換することができた。
	Y	日本の金貨1枚は、外国の銀貨5枚と交換することができた。
説明文	a	日本から外国へ大量の金貨が流出した。
	b	外国から日本へ大量の金貨が流入した。

1. Xとa 2. Xとb 3. Yとa 4. Yとb

問4 Kさんは、近現代の歴史について次のレポートを作成した。これについて、あとの各問いに答えなさい。

レポート

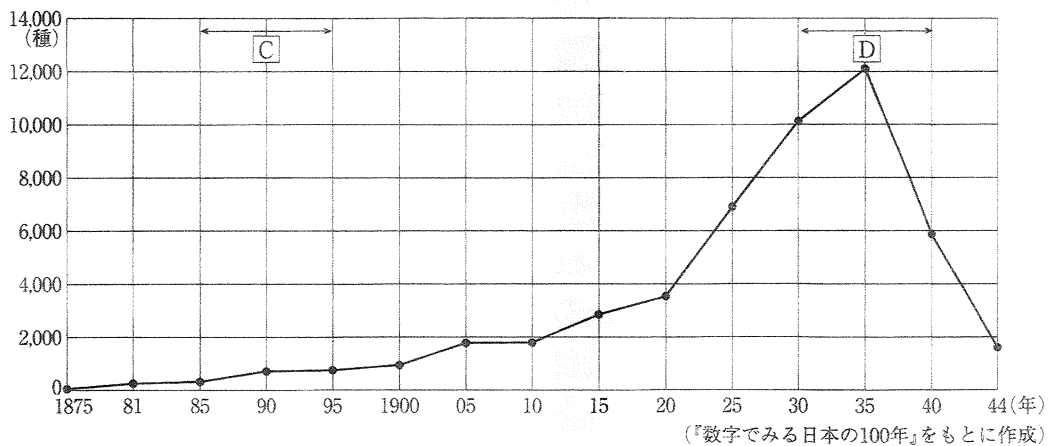
私は、没後120年を迎えた福沢諭吉に着目して、調べ学習をおこないました。次の表は、福沢諭吉に関するできごとと歴史の授業で学習したことを、年代の古いものから順に並べて作成したものです。

表

福沢諭吉に関するできごと	歴史の授業で学習したこと
大阪にあった中津藩の蔵屋敷で生まれた。-----	天保のききんがおこった。
日刊新聞「時事新報」を発刊した。-----	立憲改進黨が結成された。
66歳で亡くなった。-----	八幡製鉄所が操業を開始した。
福沢諭吉の肖像を用いた1万円札の発行が始まった。-----	日米貿易摩擦が深刻になった。

福沢諭吉の功績の一つに、新聞の発行があります。次のグラフは、19世紀後半～20世紀前半における、新聞・雑誌の種類数の推移を表したものです。

グラフ



(ア) 次の文a～dのうち、表中の[A]の時期のできごとについて説明したものの組み合わせとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- a フランスの技術を導入した官営の富岡製糸場がつくられた。
- b 軍需品の需要から、日本の輸出額が輸入額を上回り、造船などの重化学工業が発展した。
- c 皇族以外のすべての人が平等とされ、姓を名乗ったり自由に結婚したりすることができるようになった。
- d 平塚らいてうが、女性差別の解消を目指す文芸集団「青鞾社」を女性だけで立ち上げた。

1. a. c
2. a. d
3. b. c
4. b. d

- (イ) 表中の[B]の時期のできごとについて説明した次の文Ⅰ～Ⅲを、年代の古いものから順に並べたものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- Ⅰ 南ベトナムを支援するアメリカが、ソ連や中国の支援を受けた共産主義の北ベトナムを攻撃した。
- Ⅱ アメリカを中心とする資本主義の西側諸国が北大西洋条約機構(NATO)を、ソ連を中心とする共産主義の東側諸国がワルシャワ条約機構をつくった。
- Ⅲ ガンディー(ガンジー)が非暴力・不服従の運動を指導し、「塩の行進」とよばれる抗議運動をおこなった。

1. Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ 2. Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ 3. Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ 4. Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

- (ウ) 表中の——線に関して、立憲改進黨をつくり、党首となった人物として最も適するものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

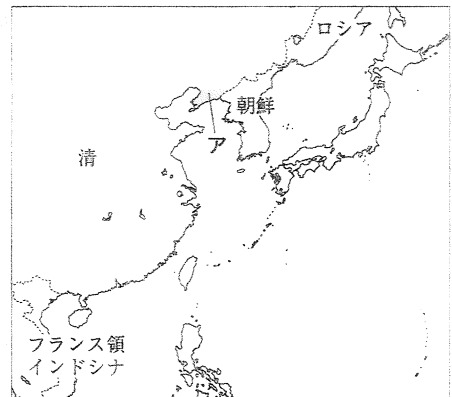
1. 板垣退助 2. 大隈重信 3. 井上馨 4. 陸奥宗光

- (エ) グラフに関して、あとの各問いに答えなさい。

- (i) 右の略地図は、1890年代における東アジアの様子を 略地図

示したものである。この略地図について説明した次の文中の[]にあてはまる語句を漢字2字で書きなさい。

略地図中のアの地域は、[]条約により、日本が清からゆずり受けることになりました。しかし、諸外国の圧力を受けて返還しました。



- (ii) グラフで示された時期におこったできごとについて説明した文X、Yと、グラフから読み取れることについて説明した文a、bの組み合わせとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

できごと	X [C]の時期に、大日本帝国憲法が發布された。
	Y [D]の時期に、米騒動がおこった。
読み取れること	a 第一回帝国議会の開催から韓国併合が実施された間の時期に、新聞・雑誌の種類数は約4倍に増えた。
	b 大正デモクラシーの時期に、新聞・雑誌の種類数は5,000を超えた。

1. Xとa 2. Xとb 3. Yとa 4. Yとb